

4月17日実施後解禁

平成25年4月10日

独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校
国土交通省九州地方整備局 八代河川国道事務所

球磨村渡地区における浸水被害軽減対策の 公開実験について

球磨村渡地区は平成16,17,18,20,23年と近年洪水による家屋浸水被害が頻発しており、その対策が求められているところです。

熊本高等専門学校と国土交通省八代河川国道事務所は平成24年9月に締結した「連携・協力に関する協定」に基づき、共同で水理模型実験を実施し、被害軽減対策の検討を行って参りました。

今回、その対策の効果や対策の内容について、球磨村渡地区の住民の方に見学していただき、意見交換等を行うこととなりましたのでお知らせ致します。

1. 日 時 平成25年4月17日（水） 14:00から1時間程度
2. 場 所 熊本高等専門学校 八代キャンパス 水理実験室（別図参照）
3. 取 材 公開
4. 内 容 浸水被害軽減対策実施前後の水理模型実験（別紙－1参照）
被害軽減に向けたソフト対策の取り組み

問い合わせ先

独立行政法人国立高等専門学校機構 熊本高等専門学校
建築社会デザイン工学科 准教授 上久保 祐志
TEL (0965) 53-1340
国土交通省 九州地方整備局 八代河川国道事務所
調査第一課長 的場 孝文
TEL (0965) 32-7551

■日程及び参加者等

日 程 : 平成 2 5 年 4 月 1 7 日 (水) 1 4 : 0 0 から 1 時間程度

実 施 者 : 熊本高等専門学校 八代キャンパス 水理実験室

参 加 者 : 球磨村渡地区住民 (十数名)

その他参加者 : 熊本高等専門学校 5 年生 (3 0 名程度)

■スケジュール

① 挨拶及び概要説明

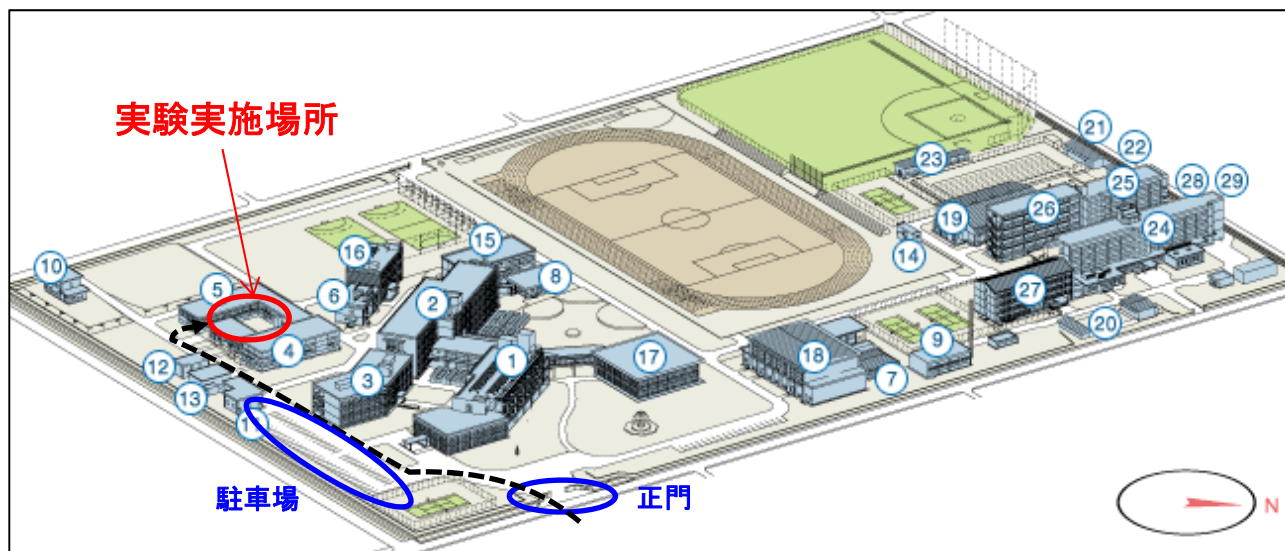
② 水理模型実験

実験 1 : 現況河道における平成 17 年 9 月洪水 (近年最大) の通水

実験 2 : 対策後河道における平成 17 年 9 月洪水 (近年最大) の通水

③ 被害軽減に向けたソフト対策の取り組み事例説明

別 図



(参考)



熊本高専に設置した水理模型の全景



熊本高専の学生との水理模型製作状況



熊本高専の学生との水理模型実験実施状況